

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎(0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。

えびな

第53回 国民体育大会
かながわ・ゆめ国体



平成10年秋季大会
10月24日～29日
◇本市開催競技
ラグビーフットボール
(運動公園陸上競技場)

「ゆめ国体 海老名の風に 光る汗」



練習あるのみ「継続は力なり」
努力すれば良い結果が...



歩くことは健康に良いと言われてはいますが、ある一定のルールをもって、いかに速く歩かを競う「競歩」という競技があります。平成10年に開かれる「かながわ・ゆめ国体」の陸上競技の一つです。カラリと晴れ渡った寒い日の朝、運動公園のブルートのトラックを黙々とひたすら歩く人がいます。浅野輝彦さん(大谷在住、55歳)は競歩と出会って30年、体力の続く限り歩きたいといっています。

21世紀へ歩き続ける 記録への限りない挑戦

〈競歩の基本的ルール〉

- ① どちらかの足が必ず地面に着いていなければならない。
- ② かかとから着地する。
- ③ 着地したときから、重心がかかるまで、ひざが伸びていなければならない。

鍛えられた体と
精神力が試合の
原動力となつて
記録も向上



くよくよしない性格。先行逃げ切りで試合に臨む浅野さん



高い目標を掲げて練習

浅野さんが、競歩をはじめるときは、昭和45年に東京都大田区の競歩大会に飛び入りで参加、見事に優勝したことに始まります。中学生のころから長距離はやっていましたが、競歩は初めてでした。端からみると、ただ歩くだけで簡単そうに見えるようですが、実際にやってみると、ルールが厳しくて、奥の深い競技であることが実感。本格的に競歩をはじめてからは次々と輝かしい記録を樹立しました。昭和41年から東日本実業団大会30年連続出場、神奈川県選手権大会16年連続優勝、メキシコ、ミュンヘン、モスクワ、モントリオールオリンピック強化選手にも選ばれました。すべては、本人の努力の結果であると思っています。

「常に目標は高くもって練習しています。記録の向上を目指し、練習は毎日欠かさずやっています」と話す浅野さん。平日は、朝4時に起床、川崎にある職場に着くと始業前まで多摩川の河川敷で練習。仕事が終わると、トレーニングジムで水泳をして体をほぐす。休みの日は運動公園のトラックでスピード練習をしています。「ただ健康を維持するためではなく、試合のことを考えて、記録をねらって練習しているので、あえて自分の体力の限界に挑戦しています」と。

競歩は孤独な競技といわれています。一本の道をひたすら歩き、「苦しい、もうやめよう」と思うか否かは自らの意志次第です。浅野さんは、競歩を通して、集中力と強い精神力を得ました。「健康であること、チャレンジ精神があるから、やってこられたと思います。努力すれば必ず良い結果がでます。継続していくことが大事です」と話す浅野さん。当然のことながら、年齢を重ねていくと体の故障との闘いもあります。とくに疲労からくる腰痛には、石を温めて腰に巻いたりするそうです。練習以外に普段の生活でも気を配ります。食事でも野菜中心にして、夜9時以降は食べないようにし10時には寝るようにしているそうです。これは家族の協力があるから。「休みの日は練習や試合などで家をおけることが多いですができるだけ家の手伝いもしています。息子も長距離をやっているの、競歩を教えたこともありません。ただ、最近はおやじのいうことも聞かなくなりました」と笑って話す浅野さんの額からは汗が輝いています。

「5月に行われる東日本実業団大会に出場して好成绩を取りたいです。その後も神奈川県大会があり、9月には、大分県で開催される全日本マスターズ陸上にも出場したいです。もちろん記録と優勝はねらいたいですね」と表情が引き締まった浅野さんは、また、黙々と一人、練習を続けました。体力の限り歩き続けたい。自分との戦い。練習で培われたものは、力強い歩みとなつていきました。一本の道を歩く浅野さんの姿は、たえず高い目標を掲げてきた精進の表れであると思えます。記録への挑戦を始めて30年がたった今、さらに21世紀へと歩き続けていくことでしょうか。

て通れない



処理経費に年額16億円!

社会生活を営むには、さまざまな決まり事や約束事がある。その中でお互いが助け合い、協力しあうことが大切になって来ている。ごみについても同様で、生活するうえで毎日発生するごみ処理についても関心をもち、「ごみ出しルール」を守ることは、社会の構成員として当然の義務である。いまや通れない「ごみ問題」を考えると見えて来よう。

表のとおり、平成7年度の「ごみ処理経費」は約16億5千万円となつています。1トンの処理経費は、5万7千262円かかります。

	4年度	5年度	6年度	7年度
ごみ排出量(トン)	27,127	27,306	28,075	28,931
年間処理経費(千円)	1,432,956	1,463,868	1,565,491	1,655,321
1トン当たり処理経費(円)	52,824	53,610	55,761	57,216
年間1人あたり排出量(kg)	247	245	249	254

ごみ処理経費の総額は、約16億5千万円となつています。1トンの処理経費は、5万7千262円かかります。年間には市民一人が排出するごみの量は約245kgで、1日あたり約680gです。平成9年度の目標は、1人あたり240kgの削減です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

4月から透明・半透明ごみ袋による収集を開始します

市内の販売店には、透明・半透明ごみ袋の販売をしていただくようお願いしております。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

市では、ごみの排出ルールの徹底および資源化と資源化をより推進するため、透明・半透明ごみ袋による収集を開始します。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。



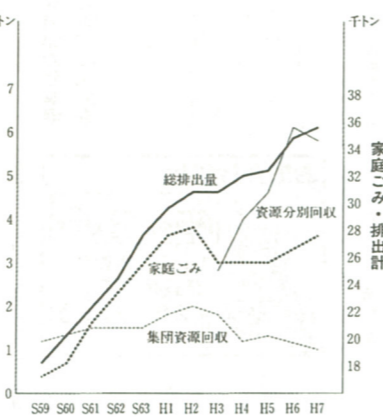
「移行期間」
4月5日は移行期間とし、この期間中は透明・半透明ごみ袋以外によるごみ出し、分別されていない場合は「ルール違反カード」を貼り、その日は収集しないでください。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

皆さんご存知ですか
1台当たりの処理費 91,000円
1世帯当たりの年間処理費 40,000円を超えます

事業者の皆さんへ!
ごみ処理費用が増加しています。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

"ごみ問題" 避け

集団資源回収・家庭ごみの年度別推移



海老名市には、さまざまな決まり事や約束事がある。その中でお互いが助け合い、協力しあうことが大切になって来ている。ごみについても同様で、生活するうえで毎日発生するごみ処理についても関心をもち、「ごみ出しルール」を守ることは、社会の構成員として当然の義務である。いまや通れない「ごみ問題」を考えると見えて来よう。

	回収量(トン)	登録団体数	売上金(千円)
平成4年度	1,222	118	6,186
平成5年度	1,412	115	4,061
平成6年度	1,212	100	3,284
平成7年度	1,114	93	2,929



	缶類(トン)	びん類(トン)	紙類(トン)	布類(トン)	合計(トン)	売上金(千円)
平成4年度	581	1,052	2,288	183	4,104	30,927
平成5年度	630	1,102	2,631	210	4,573	28,536
平成6年度	773	1,357	3,834	272	6,236	38,215
平成7年度	727	1,231	3,836	272	6,066	42,718

「ごみ集積所から一言」
海老名に住んで18年になります。年々ごみは多くなつて来ている。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

「粗大ごみ」
家具や電器製品等の破損、壊れた車やバイク等は、粗大ごみとして収集されます。収集には手数料がかかります。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

「ごみ出しルール」
ごみを出す際には、ごみ出しルールを守ってください。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

「ごみ出しルール」
ごみを出す際には、ごみ出しルールを守ってください。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

「ごみ出しルール」
ごみを出す際には、ごみ出しルールを守ってください。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

「ごみ出しルール」
ごみを出す際には、ごみ出しルールを守ってください。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

「ごみ出しルール」
ごみを出す際には、ごみ出しルールを守ってください。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

ごみ出 3原則

- ☆決められたものを
- ☆決められた時間に
- ☆決められた場所へ

「ごみ出しルール」
ごみを出す際には、ごみ出しルールを守ってください。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

「ごみ出しルール」
ごみを出す際には、ごみ出しルールを守ってください。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。ごみ処理には、市民一人ひとりの協力が必要です。ごみ出しルールを守り、ごみを減らすことが大切です。

消防関係者が勢ぞろい

1月14日、市役所催事広場で「消防出初式」が行われ、消防関係者や市民ら約800人が参加した。当日は、消防活動や火災の早期発見、人命救助などに貢献された方への表彰の後、市消防署などの模範演技が行われた。また、去年12月19日には、市消防団の第2・7・10・11分団に最新消防ポンプ自動車、市消防署に2台目の高規格救急車が配備された。



分列行進に参加した市消防団
火クラブ防



フロントピツクス



小島 耀介くん
1歳

あんよも上手にできて、家中歩き回っています。早く春が来ないかな...お外で遊ぶのが楽しみなんだ。(大谷、小島真樹・優子さんの長男)



塩田 かをりちゃん
1歳1カ月

好き嫌いもなくなんでもよく食べます。「こんにちわ」「ごめんなさい」と言っておじぎができるようになりました。(上今泉、塩田弘二・明子さんの長女)



山下 瑞貴ちゃん
1歳1カ月

毎朝6時から元気いっぱい活動開始! 目覚まし時計が鳴る前にパパとママを起こしちゃいます。(中央、山下高徳・道子さんの長女)



荒井 綾香ちゃん
1歳

アーちゃんは、お兄ちゃんたちにもまれているので、あまり泣かないけど、泣くと少々泣きやみません。(下今泉、荒井孝一・憲子さんの長女)

▼新春ジャンボかるた大会に100人



新春恒例のジャンボかるた大会が1月11日、門沢橋小学校グラウンドで行われ、親子連れなど100人が参加した。子供たちは勢いがつきすぎて、通り過ぎちゃった...と、新春のひとときを過ごした。

まんきる赤ちゃん

1月14日、市内各地で「どんど焼き」が行われた。市内保育園では、今年1年の健康を祈ってと、焼きたてのどんごをおいしい!とほおばる園児の姿が見られた。

▶保育園でどんど焼き



今月のプロフィール

海老名発世界へ向け!



インターネットの画面に
市内の情報を入力している
坂本 順一 さん
さかもと じゅんいち

最近よく聞く言葉「インターネット」。世界中からアクセスでき、情報を得ることができるこのシステムは、急速に活用されている。このインターネットのホームページに、海老名市内の情報を載せているのが坂本順一さん(上郷在住、47歳)。
ホームページの内容は、市内の見どころ・聞きどころ・ぶらり海老名、食べ歩きや、市の広報紙や刊行物からの情報など、市内に関する情報が満載。約50ページにもなる情報を、坂本さんは去年の3月から、毎日こつこつと作ってきた。画面中の写真は、すべて坂本さんが自分で撮影したもので、仕事が休みの日には、奥さんと愛犬のロンといっしょに、カメラ片手に取材に出かける。
「いろいろな場所を回っていると、海老名市が広く感じます。今まで知らなかった場所がたくさん見つけたり、愛着がわいてきますね」と話す坂本さん。画面の充実に伴って

アクセス件数も増えて、1日に30件以上を数え、1年間で1万件以上になる勢い。市内だけではなく市外遠くはアメリカからのアクセスもあります。その方は、以前海老名に住んでいた方で、画面を見てすごく懐かしく思いましたという返事をいただきました。ほかにも、電子メールのやりとりで友達がたくさんできました。これからも画面を充実させ、友達を輪を広げていきたいです」と笑顔で話す坂本さん。
「市内には、まだ私の知らないことがたくさんあります。今はいろいろな情報がほしいですね」と情報を求めている。今後さまざまな情報を流し続けていってほしい。

坂本さんのインターネットアドレス
<http://www.airnet.or.jp/sakamoto>
電子メール
sakamoto@airnet.or.jp

▼歩くといつても競技になると、その速さにはビックリ! 浅野さんの姿を追いかける方は走って息が切れるほどでした。少々かぜ

編集後記

味の私はこの寒さにブルブル、鼻を真っ赤にしていたのに、浅野さんは汗をかいて意気軒昂。何とも情けない限りです。(茂)